

# 三重の土地改良アラカルト

## 県営中山間地域総合整備事業 御浜西部地区について

熊野農林事務所 農村基盤室基盤整備課  
技師 磯田晃宏

### 1. 周辺状況について

三重県南部に位置する御浜町は熊野灘に面して20数キロにわたって続く美しい七里御浜の中心部にあるとともに、吉野熊野国立公園地域にも指定されています。夏に涼しく冬は温暖で、寒暖差の少ない安定した気候が特徴であり、全国有数の多雨地帯でもあります。温暖多雨な気候に恵まれた地域性から「年中みかんのとれるまち」として多種多様な柑橘類が栽培されています。一方で東紀州地方は人口減少と高齢化が著しく進行しており、農家の高齢化と後継者不足に伴い、農業就業者が減少傾向にあります。このことから持続的な農業の実現と農地保全のために農業基盤整備の早期実施が課題となっています。

### 2. 事業概要

本地区は御浜町北西部の中山間地域において農業用施設の整備を行い、営農・維持管理における労力の節減と農業生産の増大を図り、安心・安全な農村環境の構築のために農業生産基盤整備と農村生活環境基盤整備を実施しました。

事業内容は下記のとおりです。

- ・総事業費 1,098,551千円
- ・事業工期 平成22年度～令和2年度
- ・事業内容内訳

#### 農業生産基盤整備事業

農業用排水施設整備事業	L=1,529m
農道整備事業	L=2,258m
ほ場整備事業	A=2.4ha
農地防災事業	N=1箇所

#### 農村生活環境整備事業

農業集落道整備事業	L=1,079m
農業集落排水施設整備事業	L=554m
農業集落防災安全施設整備事業	N=1箇所

### 3. 現場紹介

今回は御浜西部地区を代表して川瀬地区を紹介いたします。当地区の農道5号は国道311号線と関係集落及び農地を結ぶ路線で、現況幅員は約2.5mと狭小で輸送車両のすれ違いが困難なことから、農作物の運搬に支障をきたしていました。このため、計画幅員4.0mとなるよう農道拡幅工事を実施し、課題の解消を図りました。また当地

区は防火施設が整備されていなかったため、防火水槽を設置し火災時の消火体制を整え、安全・安心な生活環境基盤の整備を図りました。

#### (1) 道路拡幅工

道路拡幅工事により、営農者及び地元住民の通行に支障をきたさないよう、施工スパンを考慮し、迂回路を確保して施工に臨みました。その結果、大きな苦情もなく工事を終えることができました。



道路拡幅前



道路拡幅後

#### (2) 防火水槽設置工

防火水槽設置位置が道路隣接地であったため、地上部を駐車スペースとして利用できるように地下埋設形式を採用しました。



防火水槽据付状況



防火水槽完成

#### (3) 橋梁工

道路拡幅に伴い、既設橋梁では幅員不足であったため橋梁の架替え工事を実施しました。橋梁形式はプレテンション方式単純PCホロー桁を採用し、施工時は50t吊ラフテレーンクレーンにて架設しました。



橋梁工施工前



橋梁工完了後

#### (4) まとめ

中山間地域での工事の特徴として、工事現場が狭小であることが挙げられ、施工に苦慮することもあります。引き続き中山間地域の持続的な農業振興や生活環境の改善に向けて、営農者及び地域住民のニーズに沿った基盤整備に取り組んでいきます。



川瀬地区 完成写真